

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、「2026年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則」および「競技会における広告および展示物に関する規定」ならびに本大会申し合わせ事項に基づいて実施する。なお、本競技会「チャレンジ種目」「滋賀県選手権種目」はWRK対象競技会とする。

2. 招集について

- ①招集所は第3ゲート内に設置する。
- ②各競技の招集開始時刻および完了時刻は、別紙競技日程のとおりとする。
- ③競技者は招集完了時刻までに招集所で競技者係の点検を受けること。その際、アスリートビブス、シューズ、スパイクの寸法と数、衣類やバッグ等の商標の確認を受けること。
- ④ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話およびこれに類似する機器など、承認されていないものは招集所・競技エリア内への持ち込みを禁止する。これらを持ち込んでいる場合、助力と見なされる場合がある。
- ⑤代理人による招集は認めない。ただし、2種目以上に同時に出場する競技者については、「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、最初の種目の招集完了時刻の30分前までに、本人または代理人がTIC（エントランスホール）へ提出すること。提出後は、最初の種目の招集時に、2種目以降で使用するスパイク等の確認も同時に受けること。
- ⑥招集完了時刻に招集所にいない競技者は、当該種目への参加から除外され、欠場（DNS）として記録される。
- ⑦欠場する場合は、V-TIC（バーチャルTIC）内の「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻までに提出すること。 ※詳細は「13. V-TICについて」を参照（QRコードを記載）。

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブス（縦16cm×横24cm）は、エントリー時に入力された登録番号で競技者が準備すること。
- ②1500m、3000m、5000m、3000mSCについてはオーダー順の腰ナンバー標識を招集所で配付する。フィニッシュ後に係に返却すること。
- ③②以外の種目では、①と同じ番号の腰ナンバー標識（縦12cm×横18cm）を準備すること。
- ④チャレンジ種目（100m・200m）の腰ナンバー標識は、主催者が用意する。
- ⑤アスリートビブス・腰ナンバー標識の安全ピンは各自で用意すること。

4. 競技エリア（FOP）への入場について

- ①招集所から競技役員の指示に従い競技場に入場すること。
- ②競技終了後は、競技役員やスタッフの指示に従うこと。

5. 番組編成およびトラック競技の抽選について

- ①トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。チャレンジ種目100m、200m決勝の組み合わせ（レーン順）はTR20.4.3～5に従って番組編成員が行う。
- ②チャレンジ種目男子100m・200mはABC決勝を行う。予選の各組上位2着および3着以下の記録上位2名がA決勝に進出する。A決勝進出者を除く3着以下の記録上位8名がB決勝に進出し、A決勝およびB決勝進出者を除く選手はC決勝に進出する。
チャレンジ種目女子100m・200mはAB決勝を行う。予選の各組上位3着および4着以下の記録上位2名がA決勝に進出する。A決勝進出者を除く選手はB決勝に進出する。

6. 競技について

- ①競技結果については、場内スクリーンに表示し、アナウンスにより発表するとともに、「滋賀陸上競技協会大会結果速報サイト」に掲載する。なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示され、アナウンスされた時点が正式発表とする。
- ②競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。
- ③5000mは、原則グループスタートとし、アウトレーンゴールとする。
- ④主催者が設置したビデオ記録を用いて、判定を行うこともある。
- ⑤走高跳の競技前練習は、フリーで足合わせを行った後、試技順に事前に設定された高さで「公式練習2本」とする。
- ⑥三段跳の競技前練習は、試技順に「足合わせ1本」「公式練習2本」を行い、その後、競技開始時刻5分前までフリー練習とする。

- ⑦チャレンジ種目三段跳の踏切板は、砂場から男子13m00、女子10m00の位置に設置する。記録会種目三段跳の踏切板は12m00とする。
- ⑧フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。コーチングはコーチ席からのみ行うこと。
- ⑨フィールド競技における競技エリア（FOP）内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ⑩フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像を確認するために、コーチ席から録画再生機器等を手に取り、その付近で操作する場合に限り、競技区域への持ち込みを認める。また、メインスタンド前ピットおよびバックスタンド前ピットで実施される跳躍競技において、指定された場所でスタンドのコーチと競技者がタブレットやスマートフォン等を受け渡すことは可能とする。その際に使用する紐や袋等は、各チームで準備すること。受け渡し時には、事故等が発生しないよう十分にコミュニケーションを図り、安全面に最大限配慮すること。万が一事故等が発生した場合、主催者はその責任を負わない。
- ⑪サイドスタンドでは、コーチ席内から録画再生機器等を選手に手渡してもよいが、録画再生終了後すぐにコーチ席内に戻すこと。
- ⑫競技者は、競技役員の許可を得ず、また審判員の同行がない限り、競技進行中に競技場所を離れてはならない。

7. 走高跳のバーの上げ方について

- ①最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。

チャレンジ種目 走高跳		1	2	3	4	5	6	7	8	以降
	練習									
男子	1m85、2m00	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	2m15	3cm
記録会種目 走高跳										以降
	練習									
男子	1m45、1m70、1m85	1m50	1m55	1m60	1m65	…	1m85	1m90	1m93	3cm
女子	1m20、1m40、1m55	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	3cm

※同記録による1位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cmとする。

※天候等の状況により変更となることもある。

8. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、競技場備え付けのものを使用しなければならない。ただし、投てき用具については、1人2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②持ち込み投てき用具（日本陸連検定品かつWA認証品に限る）の検査を受ける場合は、競技開始の2時間前より1時間前までに、TICへ投てき用具と「投てき用具検査申請書」を提出すること。投てき用具には所属名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。また、WRK対象競技会のため、使用できる用具のリストを確認しておくこと。
- ③WA認定品かどうかの証明は、本人がしなくてはならない。（認定シールまたはWAサイト情報にて）
- ④持ち込みを受け付けた「投てき用具」については「預かり証」を発行する。投てき用具は競技終了後にTICで「預かり証」を確認のうえ返却する。

9. 競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ②World Athletics (WA) が承認したシューズリストでNoと記載されている靴については使用ができないので、各自で確認しておくこと。<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
（競技用シューズの承認状況 <https://certcheck.worldathletics.org/>）
- ③靴底の厚さについては、TR5及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。
- ④使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後に提出を求められることがある。

10. 表彰について

- ①チャレンジ種目優勝者には賞状を授与する。
- ②県選5000m優勝者には、7月の滋賀県選手権大会で選手権章と賞状を授与する。但し、選手権章は県内登録者に限る。

11. 近畿選手権大会の出場権について

- ①県選5000m 8位入賞者の県内登録者上位6名とする。

12. 練習について

- ①本競技場の練習時間帯は7：30～9：00とする。
補助競技場の練習時間帯は8：00～最終種目招集開始時刻までとする。
- ②本競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用しでのスピード練習は禁止する。
- ③本競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2・3レーンはジョグ専用、4～9レーンは短距離練習とする。補助競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2・3レーンはジョグ専用、4～8レーンは短距離練習とする。
- ④補助競技場の跳躍練習について、助走練習のみ可能とする。ただし、使用した者で準備・片付けをすること。マットおよび踏切板の使用は禁止とする。
- ⑤投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。2階・3階スタンド通路、メイン競技場通路や駐車場周辺でのウォーミングアップ（ジョグ、ダッシュ含む）は禁止する。
- ⑦室内も含めて競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。また、室内練習場は、短距離系のスピード練習と長距離のジョグは混在しないように注意すること。また、走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は使用不可とする。室内練習場での場所取りは禁止とする。

13. V-TICについて

- ①「欠場届」と「記録証明書発行届」はV-TIC内の専用フォームから提出すること。
- ②記録証明書は発行手数料500円と引き換えにエントランスホールのTICで手渡す。



14. その他

- ①競技会における怪我の応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。
- ②テントの設置は、メインスタンドおよびサイドスタンドでは禁止とする。バックスタンドについては設置を可とするが、風で飛ばないように安全に設置すること。ごみは各自・各チームで持ち帰ることを基本とし、使用した場所は責任をもって清掃し、競技場の環境美化に協力すること。
- ③競技場外でのテントの設営を禁止とする。
- ④横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりに限る。
- ⑤スマホ以外で撮影する場合は、エントランスホールのTICにて受付すること。撮影許可証は首からかけ、退場時に返却すること。また、撮影した画像を役員が確認する場合があります。内容によっては警察に通報する。大会で撮影した画像・動画等をSNS等へ投稿しないこと。
- ⑥スタート地点など、撮影禁止エリアでの撮影は認めない。審判員の指示等に従うこと。
- ⑦競技エリア内に、日傘や折りたたみ椅子など、競技運営や他の競技者に支障をきたす恐れのある物を持ち込むことはできない。
- ⑧提出書類は下記のとおりとし、すべてTICにて受け取る。なお、TICはエントランスホールに設置する。

	提出書類	提出先	提出時間
1	多種目同時出場届	TIC	第1種目の招集完了時刻30分前まで
2	欠場届	V-TIC	各種目の招集完了時刻30分前まで
3	抗議申し立て(口頭)	TIC	正式記録発表後(予選)15分まで(決勝)30分まで
4	上訴申立書(文章) (預託金2万円)	TIC	審判長公式裁定後(予選)15分まで(決勝)30分まで
5	投てき用具検査申請書	TIC	競技開始2時間前から1時間前まで
6	記録証交付願	V-TIC	競技終了後随時

15. WRK・WA競技規則に関する補足

<国際ルールが適用されるにあたって特に注意すべき事項>

- ①走高跳および棒高跳では、同時申込により異なる順序で試技を行うことを認められた場合について、その試技時間に競技者が不在の場合はパス扱い(-)とする。(TR4.3)

<国際ルールが適用されない項目>

- ①(トラック種目、フィールド種目ともに現場での抗議(競技中の抗議)は認めない(TR8.4.1および8.5は適用しない。))
- ②参加の拒否(TR4.4)